



リモートセッションの設定

- [産業用ルータへの SEA エージェントのインストール \(1 ページ\)](#)
- [リモートセッションの設定 \(2 ページ\)](#)
- [遠隔資産への接続 \(3 ページ\)](#)

産業用ルータへの SEA エージェントのインストール

始める前に

IR ルータが IoT OD アプリケーション マネージャ サービスに追加されていることを確認します。

手順

ステップ 1 [Secure Equipment Access] > [Quick Wizard] に移動します。

[Quick Wizard] ページが表示されます。

ステップ 2 [Install SEA Agent] で、[Start Configuration] をクリックします。

アプリケーション マネージャ サービスに追加されたすべてのネットワークデバイスが、[Select Network Device] エリアに一覧表示されます。

ステップ 3 SEA エージェントをインストールするデバイスを選択し、[Next] をクリックします。

[Advanced Configuration] ページが表示され、エージェントのインストールのデフォルト設定が示されます。デフォルトでは、SEA エージェントは、プロキシなしで DHCP を使用してネイティブ VLAN にインストールされます。

ステップ 4 (オプション) エージェントインストール設定をカスタマイズするには、[Advanced Configuration] ページで必要な設定の詳細情報を入力し、[Deploy] をクリックします。

SEA エージェントがネットワークデバイスにインストールされます。ステータスは、[System Management] ページの [SEA Agent Connection] 列で確認できます。5～10 分待ってからステータスを確認してください。

リモートセッションの設定

始める前に

管理する OT 資産に到達できる IR ルータに SEA エージェントがインストールされていることを確認します。

SEA ユーザーおよびアクセスグループ

SEA ユーザーには、特定のアクセスグループを介してアクセス権が付与されます。アクセスグループを作成し、ユーザーと設定されたリモートセッションの両方をグループに追加することをお勧めします。グループ内のユーザーのみが OT 資産にリモートでアクセスできます。

リモートセッションを設定する手順の概要

1. 資産に接続するネットワークデバイスを選択する
2. 資産を設定する
3. 資産にリモートでアクセスするためのアクセス方式を設定する
4. 資産とユーザーの両方が属するアクセス制御グループを選択する
5. 接続が機能していることを確認する

手順

ステップ 1 [Secure Equipment Access] > [Quick Wizard] に移動します。

右側に [Quick Wizard] ページが表示されます。

ステップ 2 [Connect to Asset] で、[Start Configuration] をクリックします。

アプリケーション マネージャ サービスに追加されたすべてのネットワークデバイスが、[Select Network Device] エリアに一覧表示されます。

ステップ 3 リストから IR ルータを選択し、[Next] をクリックします。

次の手順で設定する OT 資産は、このデバイスに関連付けられます。

ステップ 4 接続された資産を設定します。[Configure Connected Asset] エリアで、次の詳細情報を入力し、[Next] をクリックします。

- a) [Asset Name] : 追加する資産の名前。
- b) [IP Address] : 資産の IP アドレス。

- c) [Description] : 資産に関する簡単な説明。

ステップ 5 アクセス方式を設定します。

- a) [Choose Access Method] ドロップダウンリストからアクセス方式を選択します。

SEA ユーザーは、ここで選択したアクセス方式を使用して資産にアクセスします。選択可能なオプションは、[RDP]、[SSH]、[Telnet]、[VNC]、および [Web App] です。選択したアクセス方式に応じて、追加のフィールドが入力されます。

- b) [Assign to an Access Control Group] ドロップダウンリストからアクセス制御グループを選択し、[Finish] をクリックします。

アクセス制御グループに追加されたユーザーのみが、グループ内の資産にリモートでアクセスできます。

ステップ 6 [Test Access Method] をクリックしてリモート接続をテストします。

アセットへの接続を確認する新しいページが表示されます。

ステップ 7 [Done] をクリックします。

設定したリモートセッションが [Remote Sessions] ページに表示されます。SEA ユーザーは、Cisco IoT Operations Dashboard にログインしてセッションにアクセスできます。

遠隔資産への接続

リモートセッションを設定すると、SEA ユーザーは遠隔 OT 資産に接続できます。

1. Cisco IoT Operations Dashboard に SEA ユーザーとしてログインします。
2. [Secure Equipment Access] > [Remote Sessions] をクリックします。
使用可能なすべてのセッションが画面に表示されます。
3. 選択したセッションに移動し、[Connect] をクリックします。
SEA ユーザーは、以前に設定されたアクセス方式を使用して資産に接続します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。